

学校だより

かぎやま

発行
久米島小学校
平成27年
10月16日
第12号

豊かに表現する力を育む

校内童話・お話大会 ～工夫と練習～

童話・お話大会は、「童話・お話・意見発表の活動を通して表現力の養成に努め、情操教育と言語教育の発展に資する。」ことを目的に全県下で実施されており、今年度で六十六回を迎える歴史ある大会となっております。本地区においても大会の目的を受け、久米島町PTA連合会の主催により毎年開催されています。本校では、校内童話・お話大会が九月三十日にPTA主催により開催されました。各学年の代表十二名による校内大会では、一人一人が取組の成果を堂々と発表することができました。

低学年と高学年では、話す内容が違いますが、自分の考えや童話等のお話を聞く相手に感動的に伝えるために、聞く側を意識した話の仕方についていろいろな工夫が必要になります。大会では、発達段階に応じた内容、相手にしつかりと内容が伝わるような適度な声量、話す速さ、発音、言葉の使い方、声の高低や強弱などの声の変化、間のとり方、身振り等もそうですが、それぞれの場面を考えて話すことなどです。また、高学年では、事実や意見、自分の考えをしつかりもって根拠・理由を事例を示しながら話すこと等が重要になります。

人前で話すことは、簡単なことではありません、子ども達は、目標を見定め、話にいろいろな工夫を加えて、自分の考えや話の楽しさを伝えようと一生懸命に練習に取り組んできました。工夫と練習を繰り返して、人前で話す経験を重ねていく中で、自信に繋がりが、相手意識が形成され豊かに表現する力が次第に身に付くものと考えています。学年代表の皆さんは、貴重な学習体験を通して、大きな成長への糧を得たことだと思います。

様々な体験や経験は、物事を多面的に捉え幅広い考えに繋がります。一人一人がいろいろな事にチャレンジし日々の活動や生活の中で力を発揮し、逞しく成長して欲しいと願っています。

お校内童話大会

〈低学年の部〉

三年

二年

四年

六年

の皆さんは、十月二十三日に行われる久米島地区童話お話大会に本校代表として出場いたします。大会は、低学年の部が、仲里小学校。高学年の部が比屋定小学校で行われます。練習の成果を十分発揮できますよう皆様の励ましを宜しくお願いいたします。

クラブ活動終了

本校では、望ましい人間関係の形成と個性の伸長を図ることを狙いとし四月から、五つのクラブ活動を実施してきました。外部講師として三線クラブに吉田先生、茶道クラブに前川先生を迎え四年生、六年生までの児童がそれぞれのクラブで協力し合い助け合いながら活動を進めてきました。約半年間の活動でしたが、子ども達は、活動に没頭し日々達成感を味わうことができましたようです。御指導くださったりました皆様にあらかじめ感謝申し上げます。

松の剪定 学校支援ボランティア

町天然記念物として、校庭にはコバデインとガジュマルがどっしりと根を張っています。また、百周年記念事業に地域の皆様によって植樹された四本の松が学校の歴史と多くの方々の想いを感じさせてくれます。十四日に松の剪定が行われ見事な枝ぶりを披露してくれています。剪定作業の学校支援をくださりました宇久里様、宮平様、ありがとうございました。

友情を育み 自然を満喫 〈臨海学校〉

本校においては、地域の自然や文化等を素材に、体験活動等を年間を通して計画的に実施しています。低学年においては、あいさつなどの基本的な生活習慣、社会生活上のきまりを身に付け、善悪の判断し、人間としてしてはならないことを中心に、中学年では、集団や社会の決まりを守り、身近な人々と協力し助け合う態度の育成など、高学年では、法やきまりの意義を理解することや、相手の立場を理解し、支え合う態度を身に付けること、集団における役割と責任を果たすことなどをねらいとし、各学年の発達の段階に応じた活動を構成しています。

10月8日から9日の2日間、集団宿泊自然体験学習として奥武島キャンプ場において、4・5・6年の臨海学校を実施しました。島の素材を活かした貝殻アートや追い込み漁、飯ごう炊飯、キャンプファイヤー等々の活動を通して、共に助け合い励まし合った仲間との友情を育み、同時に、久米島の自然の豊かさを満喫するなど多くの事を学習することができました。また、公共物利用の約束やマナーなどについて捉え直す機会となりました。

臨海学校では、地域や保護者、講師の皆様など、多くの方々のご理解とご協力、支えによって有意義な活動になりましたことに感謝申し上げます。

